

令和6年7月16日

四国中央市長 篠原 実 様

四国中央市指定管理者選定評価委員会
委員長 倉澤 生雄

指定管理者の評価に関する答申書

令和6年6月11日 四政管第22号にて貴職から諮問のあった「四国中央市太陽の家」の管理運営状況の評価について、当委員会で審議した結果を下記のとおり答申する。

記

1 指定管理者事業者

社会福祉法人 今人倶楽部

2 評価

当該評価は、四国中央市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第15条3項及び四国中央市太陽の家の管理運営に関する基本協定書第29条に基づく評価である。

今回実施した四国中央市太陽の家は、令和5年度より指定管理を開始した障がい者入所支援施設である。

指定管理事業者である社会福祉法人今人倶楽部は、障がい者の安心した地域生活への移行及び安定した地域生活の維持継続の確保を図ることを目的とした法人である。

入所者の状況及び希望に応じて、地域移行支援を積極的に進めた結果、当初の計画を上回って地域移行が進展した。その結果、施設内の居室一人当たりの床面積の増加及び個室割合が増加し、利用者のプライバシー確保やサービスの充実につながっていた。また、職員研修やリスクマネジメント委員会、支援会議を実施するなど利用者一人一人に対する支援も十分になされており、運営面においても問題ないと思われる。評価の詳細に関しては別添の通りである。

3 審議経過

令和6年7月16日（火）庁舎5階大会議室

指定管理事業者から対象施設の管理運営現状などの説明・質疑応答

以上

令和5年度指定管理業務事業評価表(第三者評価)

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市太陽の家	
施設所管課	福祉部	発達支援課
指定管理者名	社会福祉法人今人倶楽部	
指定期間	R5年4月1日～R7年3月31日	
	1年目	

2. 評価表

評価項目		評価基準	評価
① サ ー ビ ス の 履 行 の 確 認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	
	法令順守・ 個人情報保護等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
		個人情報保護に関する法令を遵守している。	
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市との連絡調整を適切に行っている。	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		
《①の総括》			A

評価項目		評価基準	評価
② サービスの 質の評価	施設管理	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用者の人権を尊重するための周知や啓発を行っている。	B
		利用者への説明や同意（自己決定）が適切に行われている。	
		生活環境の改善など、利用者の満足度の向上に努めている。	
		安全・安心を確保するため組織的な取組みが行われている。	
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	
	地域交流	共生社会の実現を視野に、地域との連携や交流を行っている。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	
備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。			
協定書等に従い、適切に修繕を行っている。			
苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	
	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。		
指標の達成状況	利用者に対する生活介護サービスの年間提供割合を満たしている。	A	
	利用者の地域移行等の数を達成している。		
《②の総括》			B

評価項目		評価基準	評価
③ 安定性	収支状況	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A
		効率的な管理運営への工夫はなされている。	
	《③の総括》		

総合評価	①②③を合わせた総合評価	A
所見 (成果・課題等)	<p>地域移行は、当初計画を上回る人数で進んでおり、丁寧な説明や支援により地域移行に関する苦情は見受けられない。不安を取り除くため、入所者や保護者の要望を可能な限り叶えようと工夫を凝らしている点は評価する。</p> <p>また、虐待防止をはじめ、各種研修会への参加による職員のスキル向上への取組みを実施したり、リスクマネジメント委員の設置など管理体制を整えたり、利用者目線に立った支援に努めている。職員の確保についても現在順調にできており、安定的な経営は利用者及び家族の安心につながっていると思われる。</p> <p>指定管理1年目ということで、入所者の特性を理解することから少しずつ取り組んでいるが、引き続きサービスの向上や人員確保を計画的に進め、安定した事業所運営に努めてほしい。</p>	

3. 評価者

四国中央市指定管理者選定評価委員会 委員長 倉澤生雄

事業評価表

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A (優良)	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ : 110%以上
	B (良好)	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ : 90%以上~110%未満
	C (一部良好でない)	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ : 70%以上~90%未満
	D (良好でない)	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ : 70%未満
総括	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている
総合評価	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている